app5.jsのドキュメント

hello1とhello2について

ファイル一覧

	ファイル名	説明
-	app5.js	プログラム本体
٠	views/show.ejs	hello1とhello2のテンプレートファイル

hello1のプログラムの内容

const message1 = "Hello world"; const message2 = "Bon jour"; Hello worldとBon jourの二つの文字列をそれぞれ変数message1,message2に格納する.

res.render('show', { greet1:message1, greet2:message2}); show.ejsに message1,message2を渡す

hello2のプログラムの内容

res.render('show', { greet1:"Hello world", greet2:"Bon jour"}); 定義された文字列を show.ejsに渡す.

使用方法

- 1. app5 jsを起動する
- 2. Webブラウザでlocalhost:8080/hello1 or hello2にアクセスする.

iconについて

ファイル一覧

ファイル名		説明	
app5.js		プログラム本体	
views/icon.	ejs	iconのテンプレートファイル	
public/App	e logo black.svg	表示する画像	

プログラムの内容

res.render('icon', { filename:"./public/Apple_logo_black.svg", alt:"Apple Logo"});:icon.ejsに画像ファイルを渡す.

使用方法

1. app5 jsを起動する

2. Webブラウザでlocalhost:8080/iconにアクセスする.

luckについて

ファイル一覧

ファイル名	説明
app5.js	プログラム本体
views/luck.ejs	luckのテンプレートファイル

プログラムの内容

```
const num = Math.floor( Math.random() * 6 + 1 );
let luck = '';
if( num==1 ) luck = '大吉';
else if( num==2 ) luck = '中吉';
else if( num==3 ) luck = '吉';
else if( num==4 ) luck = '末吉';
else if( num==5 ) luck = '以';
else if( num==6 ) luck = '大凶';
```

Math.floorで1から6のランダムな数字を生成し、1から6をそれぞれ大吉、中吉、吉、末吉、凶、大凶に割り当てる.

console log('あなたの運勢は' + luck + 'です');:引いた運勢を表示する.

res.render('luck', {number:num, luck:luck});: luck.ejsにnumber(ランダムな数)とluck(運勢)を渡す.

使用方法

- 1. app5 jsを起動する
- 2. Webブラウザでlocalhost:8080/luckにアクセスする.

jankenについて

ファイル一覧

ファイル名 	説明
app5.js	プログラム本体
views/janken.ejs	jankenのテンプレートファイル
public/janken.html	じゃんけん開始画面

プログラムの内容

```
let hand = req.query.hand;
let win = Number(req.query.win);
let total = Number(req.query.total);
```

プレイヤーの手,勝利数,試合数を格納する.

const num = Math.floor(Math.random() * 3 + 1); 1から3のランダムな数字を生成

```
let cpu = '';
if (num === 1) cpu = 'グー';
else if (num === 2) cpu = 'チョキ';
else cpu = 'パー';
```

最初変数cpuには何も格納されていない. numの数字に応じて変数cpuにグー,チョキ,パーという文字列を格納する.

let judgement = ''; 勝敗結果を格納するための変数judgementを初期化する.

```
if (hand === cpu) {
    judgement = '引き分け';
}
```

プレイヤーとCPUの手が同じ場合、結果を"引き分け"として設定する.

・プレイヤーが "グー" かつ CPU が "チョキ" ・プレイヤーが "チョキ" かつ CPU が "パー" ・プレイヤーが "パー" かつ CPU が "グー" 上記のいずれかが満たされれば,プレイヤーの勝利となり judgementに"勝ち"を入れ,winを1増やす.

```
else {
   judgement = '負け';
}
```

上記のどれにも当てはまらない場合,プレイヤーが負けたと判断しjudgementに"負け"を設定する.

total += 1; 試合数を1増やす.勝敗に関係なく試合が行われるたび,実行される.

```
const display = {
   your: hand,
   cpu: cpu,
   judgement: judgement,
   win: win,
   total: total,
};
res.render('janken', display);
```

janken ejs にプレイヤーの手,cpuの手,勝敗結果,勝利数,試合数を渡す.

使用方法

- 1. app5.jsを起動する
- 2. Webブラウザでlocalhost:8080/public/janken.htmlにアクセスする
- 3. 自分の手を入力する

```
flowchart TD;

start["開始"];
box["グー,チョキ,パーのいずれかを入力する"]
number_of_winning["勝利数を増やす"]
number_of_matches["試合数を増やす"]

start --> box
box--> |勝利|number_of_winning
box -->|負け|number_of_matches
box--> |引き分け|number_of_matches
number_of_winning --> number_of_matches
number_of_matches---> |繰り返し|box
```

luckyについて

ファイル一覧

ファイル名 	説明
app5.js	プログラム本体
views/lucky.ejs	jankenのテンプレートファイル
public/lucky.html	くじ選択画面

プログラムの内容

ユーザーが選択したくじを取得して結果を表示 何も選択せず送信した場合は「くじを選択してください」というメッセージを返す

使用方法

- 1. app5 jsを起動する
- 2. Webブラウザでlocalhost:8080/public/lucky.htmlにアクセスする
- 3. くじを選ぶ

matchについて

ファイル一覧

	ファイル名	説明
	app5.js	プログラム本体
,	views/match.ejs	matchのテンプレートファイル

プログラムの内容

```
if (!yourName || !partnerName) {
    return res.render("match", { score: null, message: "両方の名前を入力してください。" });
}
```

:yourNameまたはpartnerNameが未入力である場合,「両方の名前を入力してください。」というメッセージをテンプレートに表示する

```
const score = Math.floor(Math.random() * 101):0から100のランダムなスコアを生成する
```

const message = `\${yourName}さんと\${partnerName}さんの相性スコアは \${score}% です!`;: 名前とスコアを組み合わせて文字列を作り,変数messageに格納する

res.render("match", { score: score, message: message }); match.ejsにscoreとmessage を渡す

使用方法

- 1. app5.jsを起動する
- 2. Webブラウザでlocalhost: 8080/matchにアクセスする
- 3. 名前を入力する